

2020年2月27日

日立のデータ統合・分析基盤「Pentaho」が、インテックの統合データ活用サービス「ARQLID」の ETL に採用 ～Pentaho のデジタル領域におけるパートナーシップを強化～

株式会社日立製作所(以下、日立)のデータ統合・分析基盤「Pentaho」が、このたび、株式会社インテック(以下、インテック)が提供する統合データ活用サービス「ARQLID(アークリッド)」の ETL*サービス「ETL/h」に採用されました。「Pentaho」により機能強化した「ARQLID」は、お客様のデータ分析の手間を削減し、お客様のデータ活用を促進します。

日立は、「Pentaho」のデジタル領域におけるパートナーシップの強化を推進しています。今回のインテックのサービスへの採用もこの強化の一環であり、パートナーシップによりお客様のデジタルビジネスの革新を強力に支援します。

*ETL:Extract/Transform/Load の略。

IoT の発展に伴い、企業は多種多様なデータ蓄積が可能になりましたが、膨大で複雑なデータの蓄積の中から、企業の事業戦略に役立つ知見を引き出すためには、データ分析が不可欠です。しかし、このデータ分析のプロセスにおいては、前工程としてデータごとに異なるフォーマットの統一や、データの欠損や不備の補完、データの理解と準備に時間と工数がかかるといった課題がありました。

日立は、これら課題に対応し、データの抽出・変換・出力といったデータ統合機能に特に強みを持つデータ統合・分析基盤「Pentaho」を 2015 年 10 月より提供しています。「Pentaho」は、業務システムのデータやセンサーデータ、SNS データといったさまざまなデータのフォーマットを迅速かつ容易に統一でき、データの不備や欠損を補完するクレンジング機能のほか、データ統合に必要な機能をコーディングレスで提供します。

また、インテックは、ビッグデータ・IoT・AI 技術を基盤とした、さまざまなデータを収集、統合、分析する統合データ活用サービス「ARQLID」を 2017 年 7 月より提供しています。「ARQLID」は、さまざまなサービスを商品群として提供しており、それらをお客様のニーズに合わせて自由に組み合わせることで、最適なソリューションを迅速かつコストを低減しながら提供しています。

今回、日立とインテックのパートナーシップにより、大量データの取扱いにおいて強みをもつ日立の「Pentaho」が、インテックの提供する「ARQLID」のマイクロサービスの一つとなる ETL サービス「ETL/h」に採用されました。これにより、データ分析プロセスの中でも特に時間と工数を要するデータ準備の為にデータ変換プログラム作成作業を、データの種類にかかわらず短縮でき、データ準備の大幅な効率化がより容易に可能となります。また、「ARQLID」のユーザーは、分析のモデリング・実行・評価に注力できるようになることから、より精度の高い分析データの活用を実現できます。

今後も、日立とインテックは、デジタルトランスフォーメーション分野でさらなる協創を進め、お客様のビジネス変革と事業の発展に貢献していきます。

また、日立は「Pentaho」のパートナーリングをさらに拡大し、お客様のデジタルビジネスの拡大に貢献していきます。



図 1 | サービスの概要図

「Pentaho」のウェブサイト

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/bigdata/platform/pentaho/index.html>

インテックのニュースリリースサイト

<https://www.intec.co.jp/news/>

商標注記

- Pentaho は、Hitachi Vantara Corporation の日本及びその他の国における商標または登録商標です。
- ARQLID は、株式会社インテックの登録商標です。
- 記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所サービス&プラットフォームビジネスユニット IoT・クラウドサービス事業部
〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地
お問い合わせフォーム : <https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上